

孫育ての関わり方

【プログラムのねらい】

近年、家庭や家族も変容し、多様化して、親が祖父母などから学ぶ機会も少なくなっています。このことは、子育てに関して祖父母が孫や親にかかわることも減ってきていることとなります。ここでは、孫育ての関わり方について学習します。

【プログラムの展開例】（時間 60 分程度）

	○進め方 ◎ことばかけ	留意点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介をします。 ○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。 ○自己紹介やゲームを行い、緊張を和らげたり、参加しやすい雰囲気づくりをしたりします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○明るく元気な話し方を心がけます。 ○今日のプログラムのねらいについて、ポイントをしぼりわかりやすく説明します。 ○参加者に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。 ○ゲームなどが終わるまでに、次の活動にスムーズに移れるようにグルーピングしておきます。 ○1グループにつき5～6人（全体の人数が少ない場合は3～4人）を目安に編成します。 ○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ○「ワーク1」の場面を説明します。 ◎全体的に捉えて気付いたことや出くわした場を特定して感想を話し合います。 ◎「ワーク2」を読んで、具体的に書いてみましょう。 ◎書いたことをもとに、グループで意見交換をしてみましょう。 ○発表してもらいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読みながら、事例の具体的な場面を理解してもらいます。 ○出くわした場面を㊶～㊸の中から特定して助言します。 ○自分の孫と親を思い浮かべ、特定した事例と関連付けてみるように助言します。 ○グループごとに発表し合うことをあらかじめ知らせておきます。 ○読みながら活動を理解してもらう方法も考えられます。 ○当時に思い出し、気持ちを楽にして書くように助言します。 ○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。

	<p>○「ワーク3」の活動を説明します。</p> <p>○<孫や親にどうかかわっているか>について、その体験を書いてもらいます。</p> <p>◎書いたことをもとに、グループで意見交換をしてみましょう。</p> <p>○発表してもらいます。</p>	<p>○自分の子供の頃や、子育てをしていた頃の祖父父母のかかわりに関連付けて考えるように助言します。</p> <p>○「ワーク2」の意見交換も参考にして、グループで、意見交換をするよう促します。</p> <p>○楽しみ、喜び、失敗などのエピソードを紹介しあえるように助言します。</p> <p>○グループの意見を集約して発表してもらうことをあらかじめ知らせておきます。</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>◎今日の学習のまとめをしましょう。</p> <p>○参加者一人一人に今日の学習を通して気付いたこと・参考にしたいことを書いてもらいます。(ふりかえり)</p> <p>○発表してもらいます。</p>	<p>○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったこと、これから参考にしてみたい、取り組んでみたいことを書くように助言します。</p> <p>○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうことをお願いしておきます。</p> <p>○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。</p> <p>○発表された内容等を取り上げ、参加者に、自分たちの子育て体験を重視するのではなく、孫の成長を楽しみながら、孫育てを応援する気持ちでかかわることの大切さを話してまとめます。</p>

※ 設定時間が短い場合には、ワーク2、3を中心に流れを考えるようにします。

世帯構造別、世帯類型別にみた世帯数及び平均世帯人員の年次推移

年次	総数	世帯構造						世帯類型				平均世帯人員
		単独世帯	夫婦のみ世帯	夫婦と未婚の子のみ世帯	ひとり親と未婚の子のみ世帯	三世帯	その他の世帯	高齢者世帯	母子世帯	父子世帯	その他の世帯	
		推計数 (単位:千世帯)						推計数 (単位:千世帯)				(人)
昭和61年	37 544	6 826	5 401	15 525	1 908	5 757	2 127	2 362	600	115	34 468	3.22
平成元年	39 417	7 866	6 322	15 478	1 985	5 599	2 166	3 057	554	100	35 707	3.10
4	41 210	8 974	7 071	15 247	1 998	5 390	2 529	3 688	480	86	36 957	2.99
7	40 770	9 213	7 488	14 398	2 112	5 082	2 478	4 390	483	84	35 812	2.91
10	44 496	10 627	8 781	14 951	2 364	5 125	2 648	5 614	502	78	38 302	2.81
13	45 664	11 017	9 403	14 872	2 618	4 844	2 909	6 654	587	80	38 343	2.75
16	46 323	10 817	10 161	15 125	2 774	4 512	2 934	7 874	627	90	37 732	2.72
19	48 023	11 983	10 636	15 015	3 006	4 045	3 337	9 009	717	100	38 197	2.63
22	48 638	12 386	10 994	14 922	3 180	3 835	3 320	10 207	708	77	37 646	2.59
23	46 684	11 787	10 575	14 443	3 263	3 436	3 180	9 581	759	96	36 248	2.58
		構成割合 (単位:%)						構成割合 (単位:%)				
昭和61年	100.0	18.2	14.4	41.4	5.1	15.3	5.7	6.3	1.6	0.3	91.8	・
平成元年	100.0	20.0	16.0	39.3	5.0	14.2	5.5	7.8	1.4	0.3	90.6	・
4	100.0	21.8	17.2	37.0	4.8	13.1	6.1	8.9	1.2	0.2	89.7	・
7	100.0	22.6	18.4	35.3	5.2	12.5	6.1	10.8	1.2	0.2	87.8	・
10	100.0	23.9	19.7	33.6	5.3	11.5	6.0	12.6	1.1	0.2	86.1	・
13	100.0	24.1	20.6	32.6	5.7	10.6	6.4	14.6	1.3	0.2	84.0	・
16	100.0	23.4	21.9	32.7	6.0	9.7	6.3	17.0	1.4	0.2	81.5	・
19	100.0	25.0	22.1	31.3	6.3	8.4	6.9	18.8	1.5	0.2	79.5	・
22	100.0	25.5	22.6	30.7	6.5	7.9	6.8	21.0	1.5	0.2	77.4	・
23	100.0	25.2	22.7	30.9	7.0	7.4	6.8	20.5	1.6	0.2	77.6	・

労働厚生省「国民生活基本調査」(平成23年)